

フルカラー複合機リース 仕様書

1	リース物件名	フルカラー複合機リース
2	品質・形状・寸法 又は型式	詳細は、別紙「基本機能仕様」のとおり
3	メーカーの指定	・富士ゼロックス株式会社 ・キャノン株式会社
4	数量	1台
5	納入期限	平成25年9月30日まで
6	設置場所	横須賀市都市部都市計画課(横須賀市小川町11番地)(分館4階)
7	リース期間	平成25年10月1日から平成30年9月30日までの60カ月とする。
8	契約方法	1 長期継続契約によるリース契約(単価契約)とする。 2 1箇月当たりの機械賃貸借(税抜)と各モード(フルカラー/モノクロ)毎の1枚当たりのコピー料金(税抜)での契約とする。但し、1枚当たりのコピー料金は使用枚数にかかわらず1単価とする。 3 別紙「契約単価内訳書」に示す上限単価を超える単価での契約はできない。 4 コピー料金の契約単価は小数点第2位までとする。 5 コピー料金単価を決定するにあたり、小数点第2位未満に端数が生じるときは、これを切り捨てる。
9	保守契約	1 保守料はコピー料金に含む。 2 保守には次の項目を含む。 ・印字不良等が発生した場合の電話または訪問による対応。 ・故障修理の派遣費用、技術料、修理部品代。 ・製品を安定した状態で使用するための保守要員による予防点検。 ・感光体および現像剤の貸与。 3 機器が常に正常な状態で稼働できるように随時保守点検を行うこと。但し、この仕様で指定した時間以外での作業を求めた時は、必要と認められる人件費の差額相当について、協議により決定し、この契約とは別に支払うものとする。 4 緊急故障における対応は当日とするが、やむを得ない場合は翌日を原則とする。 5 前記の対応時間は平日8時30分から17時30分までとする。平日とは月曜日から金曜日(土曜日、日曜日、祝祭日及び12月29日から1月3日までを除く)とする。 6 復旧に長時間を要すると判断した場合、又は故障等が多発し業務に支障をきたす場合は、担当職員と協議の上、代替機を設置し、それにかかる費用は賃貸人の負担とする。 7 消耗品の補充と使用済み消耗品の回収(用紙は除く)を定期的に行うこと。 8 上記の保守契約については、賃貸人及び賃借人が契約事項に従って適切に管理された場合に適用し、当該機器又は管理に瑕疵があるときは、その費用は原因者が負担する。
10	リース物件 設置・撤去費用	1 複合機の搬入、搬出、設定に要する一切の費用をリース料に含む。 2 上記1の各作業は、日程について本市と協議の上、同一日の平日(8時30分から17時15分)の本市の指定した時間に行うこと。 3 搬出時にはデータが残らないよう、工場出荷時の状態とすること。
11	動産総合保険	この契約が存続する期間中、賃借人を契約者とする動産総合保険契約を損害保険会社と締結すること。
12	リース物件の 固定資産税	本リース物件に係る固定資産税は、リース料に含む。
13	リース期間 満了後の措置	返 還
14	支払方法	1月分ごとの後払いとする。但し、毎月の精算額に消費税相当額を加算して支払う。
15	入札金額	下記計算式で算出した金額の合計額を入札金額として記入すること。 [賃借料(税抜)+(フルカラーコピーの予定使用枚数×フルカラーコピー単価(税抜))+(モノクロコピーの予定使用枚数×モノクロコピー単価(税抜))]×6箇月 なお、別添「入札金額積算内訳書」で入札金額を確認してください。
16	その他事項	1 落札業者は、別紙「契約単価内訳書」を作成し、契約書に添付すること。 2 「グリーン購入法」適合商品であること。 3 機器は新品またはリサイクル品(現行の製品カタログ等に記載があるものに限る。中古不可)とする。 4 リース物件を接続する電源回路については、原則として、現在使用している機器の接続環境から改修を行わないこととする。 5 本市が指定するパソコン(1台)にプリンタドライバのインストール作業を行い、正常に動作することを確認すること。 また、ネットワーク経由で接続しているシステムから正常に出力されることを確認すること。 6 プリンタドライバのファイル一式をCD(1枚)で納品すること。 7 取扱説明書を一式納品すること。 8 梱包材等は持ち帰ること。 9 契約締結以後、モデルチェンジ等の理由により別紙仕様書の物品が納入できない場合は、本市と協議の上、同等性能以上の物品を納入すること。 10 国際エネルギースタープログラム基準への適合等環境に配慮した製品であること。
17	連絡先	都市計画課 大月 046-822-8355

フルカラー複合機基本機能仕様書

1	機能	複写出力(フルカラー)
2	解像度	読み取り・600dpi 書き込み・1200×2400dpi以上
3	階調	256階調以上
4	複写原稿	最大A3版サイズ of 原稿を複写できること。
5	原稿送り	・最大A3版サイズの自動両面原稿送りが装着されていること。 ・原稿収容枚数は70枚以上とすること。 ・サイズ混在原稿を、原稿送り装置からそのままの等倍で読み込み、印刷できること。
6	複写サイズ	はがきサイズからA3版まで複写が可能なこと。
7	連続複写速度(毎分)	A4版35枚以上(フルカラー及びモノクロ)
8	ファーストコピータイム	A4原稿時モノクロ5.0秒 フルカラー6.5秒以内とする
9	複写倍率	3段階以上の縮小及び3段階以上の拡大固定倍率、25%～400%(1%単位)のズーム機能の両方を装備していること。
10	ソート機能	要(コピープリンタ機能共 電子ソート機能)
11	パンチステイプル機能	不要
12	FAX機能	要(ダイレクトFAX機能要)
13	給紙方式	最大A3サイズが550枚以上収納出来るトレイを4段有すること。
14	複写用紙	汎用PPC用紙(再生紙)が使用できること。
15	両面複写	A4版・A3版・B4版・B5版の両面複写が可能なこと。また、カラー・モノクロ共に1パス両面機能を有すること。
16	手差し機能	はがきサイズからA3版まで複写が可能なこと。
17	その他	1 大きさは、幅700mm×奥行800mm×高さ1,200mm以内とする(手差しトレイ等収納時) 2 原稿合わせは、角もしくは縁合わせとする。 3 省電力モードは、移行時間の設定が行えること。 4 ネットワーク機能として、LANに接続が可能であり、プリンタサーバ等を利用せず、クライアントPCからLAN経由で直接印刷可能であること。また、USB接続でPCからの出力も可能なこと。 5 Microsoft WindowsXP(日本語版)、Vista(日本語版)、7(日本語版)、8(日本語版)に対応していること。 6 カラー・モノクロスキャンしたデータをLAN経由でPCに保存できること。 また、スキャンしたデータを直接USBメモリーに保存できること。 7 USBメモリーに格納されている画像データを、PCを経由する事無く直接複合機から出力ができること。 8 電源は、AC100V 15A, 50Hz/60Hz共用であること。 9 現在使用している機器名称: FUJI XEROX Docu Centre- II C2200 PFS 10 障害発生時、ネットワーク経由で接続しているシステムの保守を行うシステム販売会社(システムベンダー)と調整の上、障害発生箇所の切り分けを行い、原因究明すること。別紙「障害時保守フロー」参照。 ネットワーク経由で接続しているシステムは以下のとおり。 (システム名称) ・都市計画情報システム (システムで使用しているソフトウェア) ・ArcGIS ver.10.0SP3 ESRI社製 ・PasCAL Advanced ver.1. 3. 2 (株)パスコ社製 11 本市が、ネットワーク経由で接続しているシステムのソフトウェアをバージョンアップ等をする旨の連絡をした場合は、フルカラー複合機の動作に問題が生じないかなどの確認を事前に行うこと。 12 ネットワーク経由で使用する機能を利用するために必要な設定について、物件搬入時に複合機及び本市が指定するパソコン(1台分)を用いてその設定を行うこと。またその際、本市が指定する職員を対象に、機器の設定方法について、使用説明書等を用いた十分な説明を行うこと。 13 A4版・A3版・B4版・B5版の書類をカラースキャンすることができること。 14 スキャニング時の出力ファイル形式は、TIFF, JPEG, PDFが可能であること。

契約単価内訳書

	上限単価(税抜)		契約単価(税抜)	
機械1台当たりの月間賃借料(円)	10,500			
1枚当たりのコピー料金(円)	フルカラー	15.00	フルカラー	
1枚当たりのコピー料金(円)	モノクロ	3.00	モノクロ	

コピー料金の契約単価は、小数第2位までとします。